

Information 1

日本アイスフラワー
アカデミーの
認定教室が
続々とスタート!

アイスフラワーの基本から
本格的な作品制作までみ
っちり学ぶことができる。
待望のアカデミーが本格
始動しました。現在ベー
シックコースと認定講師の
資格取得を目指すマスタ
ーコースを一貫して受講
できる、3日間短期集中
コースを開講。東京に続
き大阪はフラワーサロン・
ミキ アートスクールで開講
しました(銀座、仙台、
名古屋、福岡でも開講予
定)。また全国各地で認
定教室が続々とスタートし
ています。

講義についての問い合わせ
日本アイスフラワーアカデミー
電話/03-0120-087-942
本部教室/デイズ
(松尾太一さんのアトリエ)
東京都港区東新橋2-18-2
グラデイト汐留ビアンコ1F
電話/03-3459-8787
8月の講義/8月27日~29日
9月の講義/9月24日~26日
認定校/フラワーサロン・
ミキ アートスクール
銀座本校
東京都中央区銀座
4-4-8 浜一・和光ビル9F
電話/03-0120-603-003
8月の講義/8月10日~12日
認定講師資格/取得された
かたは認定教室開室のため、
アカデミーが全面的にバック
アップします。

Information 2

アイスフラワーの
ご購入と
お問い合わせ先

アイスフラワーはベルギー
から直接入荷されます。
数量に限りがありますので、
購入ご希望のかたはもち
ろん、詳細は以下にお問
い合わせください。

問い合わせ
株式会社テンマック
ホームページ/
http://www.iceflower.jp
電話/03-5298-3831

Profile

松尾太一。

まつお たいいち。/TDs(デ
イズ)主宰。フラワーア
ーティスト、前衛芸術家。
花の生命をテーマに、大
胆な制作やパフォーマンス
で自由な表現活動を続
けている。教室やウエ
ディングも好評。
ディスプレイの世
でも多忙な日々
をおくる。



花の新しい可能性
アイスフラワー
第五回

アイスフラワー



布のような
素材感と、魅力的な
花の横顔を並べて

カーネーション4~5輪
をまとめて、器の口にぎ
ゅっと留めたり、ふんわり
器から飛び出させたり
…。独特の花びらの素材
感が出て、布生地に近い
感覚です。そして開き具
合の面白さが横顔に表れ
た茶つきの睡蓮を自由奔
放に挿します。ひとつの
器でも多くを並べても、
アイスフラワーの魅力が
よく出て。●カーネーシ
ョン、スイレン(ピンク
茶つき)

point
睡蓮の茎のラインも生か
して、カーネーションの
花びらのかたまりの中へ
入れてまとめます。アイ
スフラワーは花を合わせ
て量感を調整できるだけ
でなく、素材感も変化さ
せられるのです。



まさにびつたり素材。
「ある程度、熱に耐えられるし
接着剤も使えるので、クラフト
的なコーディネートができます。
たとえば、手作りキャンドル用
のロウで固めて花の中に閉じ込
めても、色がにじむことなくそ
のままの美しさを保てる。
また、量感の足し引きがしや
すい素材でもある。カーネーシ
ョンは特に、生花との素材感の
違いが際立っています。1輪だ
と生花がきれいだけれど、アイ
スフラワー数輪の花びらをぎゅ
っと集めると、布生地に近い感
覚で表現できる。こう使いな
さい、ということはない。みんな
自由に表現していいんじゃない
?」
アイスフラワーという、新し
い素材感を多様にもつ花が、さ
まざまな表現に、フレッシュな
刺激を与えてくれます。

の自由な素材感

アイスフラワーの自由な素材感に着目し、表現の幅を広げているデザイナーに登場してもらいます。切りたての花の美しい瞬間を閉じ込め、自然な風合いと繊細な色合いを留めたフリーズドライの花。アイスフラワーができるまでのプロセスやその美しい名前も、新しい素材感とともに可能性をさまざまに予感させてくれそう。生花ではできないような表現と一緒に堪能しましょう。

氷の中に
生まれたように、
涼しげなアイスフラワー

point

熱にも強いので、手作り
キャンドル用のクリアな
ロウで、アイスフラワー
の花を固めて閉じ込めて
います。また水につけて
も色がにじみ出ることも
ありません。ふたつの特
質を生かして。



アイスフラワーという名
前からイメージされた、
涼しげな作品。芍薬や睡
蓮が氷の中に生まれてい
るような物語を感じさせ
ます。キャンドル用のロ
ウの中に美しい花を閉じ
込め、氷に見立てたクリ
アゼリーの上に花を並べ
て。湿り気を帯びてしど
けなくなる花の姿は、生
花では難しいかも。アイ
スフラワーの表現の幅広
さでしょう。●シャクヤ
ク、スイレン



氷中花のように、
あるいは布のように。
アイスフラワーで
もっと自由な表現を

アイスフラワーをディスプレ
ーデザインに多様に取り入れて
いる松尾太一さん。生花とは
違う素材感に着目しています。
「アイスフラワーは僕にとつて
センサーショナルな、新しい素
材の出現でした。第一に色合い
がナチュラルでしょう。また、
一瞬にして美しい花の時を止め
た、という方法にも、美学を感
じます。空間ディスプレイにす
ぐに生かせるなど思いました」
花材を生かして作品をそこで
完結させるアレンジメントを、
どんな空間に並べるかという意
識で広いスケールで見ると、空
間ディスプレイとなります。長
時間その美しさを保つ必要があ
りますが、アイスフラワーは、

次号以降もさまざまなアーティストが登場。アイスフラワーの可能性を広げる、高度なテクニックの作品をご紹介します。

花と指導・松尾太一。撮影・栗林成城 構成と文・近藤小桃